

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 11月
令和2年11月1日の推計人口 1,309,816人
世帯数 560,751世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和2年11月1日現在の推計人口は、1,309,816人で、前月(1,310,660)に比べ844人の減少となった。

市部では、大村市(53)の1市で増加し、長崎市(△308)、諫早市(△120)、佐世保市(△99)、雲仙市(△57)、西海市(△55)、対馬市(△39)、平戸市(△38)、壱岐市(△34)、五島市(△32)、松浦市(△28)、南島原市(△28)、島原市(△23)の12市で減少した。

郡部では、長与町(28)、波佐見町(1)、小値賀町(1)の3町で増加し、時津町(△24)、東彼杵町(△20)、新上五島町(△17)、川棚町(△3)、佐々町(△2)の5町で減少した。

自然動態は、出生数793人、死亡数1,488人で695人の減少、社会動態は、転入者数2,559人(県内転入を含む)、転出者2,708人(県内転出を含む)で、149人の減少となった。

2 世帯数

令和2年11月1日現在の世帯数は、560,751世帯で前月(560,938)に比べ187世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…9月

1人当たり現金給与総額 256,919円
対前月比 3.7%減少
対前年同月比 2.0%増加

1 賃金

9月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は256,919円で、前月に比べ3.7%減少し、前年同月に比べ2.0%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は255,973円で、前月に比べ0.5%増加し、前年同月に比べ3.5%増加した。特別給与額は946円で、前年同月に比べ、3,647円減少した。

2 労働時間

9月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は146.5時間で、前月に比べ1.2%増加し、前年同月に比べ0.1%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は136.2時間で前月に比べ1.4%増加し、前年同月に比べ0.1%減少した。

所定外労働時間数は10.3時間で、前月に比べ1.0%減少し、前年同月と同値であった。

3 雇用

9月の常用労働者数は208,353人で、前月に比べ0.9%減少し、前年同月に比べ8.1%減少した。

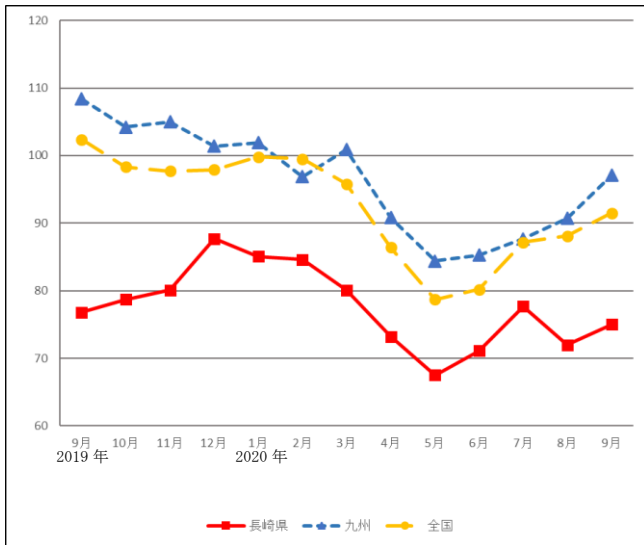
【鉱工業生産指数】…………… 9月

令和2年9月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	調整指数	前月比(%)		
長崎県	75.0	4.2	77.2	△1.3
九州	97.1	7.1	101.3	△8.9
全国	91.5	3.9	95.5	△9.0

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



令和2年9月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が75.0で対前月比は4.2%の増、原指数は77.2で対前年同月比は1.3%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、電子部品・デバイス工業、輸送機械工業など8業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、窯業・土石製品工業など5業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	34.9	△21.7	交流発電機
電子部品・デバイス工業	29.7	23.4	半導体集積回路
輸送機械工業	14.3	△13.8	新造船

○主な低下業種

業種	前月比(%)	前年同月比(%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△63.1	△17.9	鍛造機械
窯業・土石製品工業	△12.8	△2.4	生コンクリート

(注) 前月比は季節調整指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 10月

総合指数(H27=100) 103.8

対前月比(%) △0.3

対前年同月比(%) △0.2

令和2年10月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.8である。

前月比△0.3%の下落で、主な上昇要因は「諸雑費」の+1.1%、「被服及び履物」の+0.7%であり、主な下落要因は「食料」の△0.7%、「光熱・水道」の△0.8%である。

前年同月比は、令和2年6月は+0.9%、7月は+0.4%、8月は+0.2%、9月は+0.7%と推移した後、10月は△0.2%の下落であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.4であり、前月比は△0.1%であり、前年同月比は△0.4%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

諸雑費	1.1%
被服及び履物	0.7%
保健医療	0.1%

▽同水準の費目

住居	±0.0%
教育	±0.0%

▽下落した費目

家具・家事用品	△0.6%
教養娯楽	△0.5%
交通・通信	△0.4%
光熱・水道	△0.8%
食料	△0.7%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 10月

消費支出(一世帯当たり) 248,163円

前月比 81,788円減(24.8%減)

令和2年10月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は248,163円で、前月比24.8%の減、前年同月比は18.5%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は62.6%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。